社会教育分科会委員の選出について（案）

- 正副会長は、社会教育分科会委員（以下「分科会委員」という。）となる。
- 前年まで分科会委員を務めていただいた方も継続して分科会委員となる。
（鈴木委員・木内委員）
- 社会教育的活動をしている選出区分の委員から2～3名選出する。
（生涯学習ボランティア・体育協会・文化団体連絡協議会）
- 公募委員から1～2名選出する。

（以上）

【社会教育分科会委員になると】

- 1 審議会会長は、社会教育分科会の会長を兼ねるとともに、東京都市町村社会教育委員連絡協議会の理事となる。（理事会が年2回7月と2月に開催される）
- 2 分科会委員は、東京都市社会教育委員連絡協議会の会員となり、定期総会の出席のご案内をさせていただきます。（委任状の提出をもって代えることが可）
- 3 東京都市町村社会教育委員連絡協議会第5ブロック研修会のご案内をさせていただきます。（年間1回秋頃開催。本市、小金井市・三鷹市・武蔵野市・調布市・狛江市の6市で構成。なお、会長は、事前の打合せの会議に招集されることがあります。）
- 4 その他、社会教育委員として全国単位・関東・東京都などの区域とした連絡協議会等の交流大会・研修会の参加のご案内をさせていただきます。

※ 5年務められますと、東京都市町村社会教育委員連絡協議会から、感謝状が贈呈されます。